福岡女学院大学 心理学科

Department of Psychology, Fukuoka Jo Gakuin University

福岡女学院心理学科で学ぶ

心理学科の学びには、

自分に気づき、他者を理解する過程が含まれます。

新しい自分との出会いは、「私」を豊かにし、

自分を信じる力、他者とつながる力を培い、

未来を切り開いていく源となるでしょう。

皆さんの可能性が芽を出し育つための

学びと環境がここにはあります。

人間関係学部　心理学科

学科長　重橋　のぞみ

What is Psychology?

心理学は日々の様々な疑問に結びついています

心理学科には、心理学の基礎知識を学ぶ必修科目と選択必修科目に加えて、
「人間関係心理」「キャリア心理」「臨床心理」という3つの領域の専門科目が用意されています。

	人間関係心理領域	キャリア心理領域	臨床心理領域
4年次 成果をまとめる	卒業研究 A・B	卒業研究 A・B	卒業研究 A・B 関係行政論（公認心理師関係）
3年次 専門性を深める	心理学FW（人間関係）A・B 健康・医療心理学 福祉心理学 学校心理学 など	心理学FW（キャリア）A・B 経営心理学 心理統計実践 起業戦略論 など	心理療法基礎実習 I・II 精神疾患とその治療 司法・犯罪心理学 心理実習 II・III など
2年次 主要分野を選択する	人間関係実践演習 発達心理学 ピアサポート 集団心理学 など	産業・組織心理学 キャリア心理学 マーケティング 国際経済論 など	心理的アセスメント 心理学的支援法 心理演習 I・II 心理実習 I
1年次 心理学の基礎を学ぶ	人間関係心理学 哲学概論 宗教学概論	社会学概論 経済学概論 経営学概論 など	

人間関係心理領域
グループ演習等を通じてコミュニケーションや協働の理論と技能を学び、他者とのつながりを築く力を育みます

キャリア心理領域
フィールドワークなどを通じて企業や経済における人間の心理を学び、実社会の問題に心理学的な観点から対処する力を育みます

臨床心理領域
医療・福祉・教育などでの実習を通じ、心の問題とその解決方法に関する理論と技能を学び、自他の心理的健康を支える力を育みます

人間関係心理領域

ポジティブで充実した人間関係を築くための学びを集めた領域です。人間関係に関する心理学を総合的に学ぶことで、自己理解を深め、
他者と関わる力を磨きます。人間関係における得意を伸ばし、苦手を克服することにより、社会の一員としての力を育成します。

領域科目の一例

人間関係実践演習

初めての料理をレシピだけで美味しく作ることは困難です。心理学の学びも同様で、知識を技能に変える必要があります。この授業では、受講生自らが人間関係について試行錯誤をしつつ学んでいく「ラボラトリー方式」の学習を行います。この体験により、講義で学んだ知識の理解を深め、理論を活用可能な技能に昇華させ、自他や人間関係への気づきを獲得します。

集団心理学

社会生活では集団やチームで活動したり課題を解決したりすることになります。この授業では、メンバーのやる気のしくみや、集団をまとめるリーダーの働き、人と人との相互作用の影響など、集団での活動と協働を促すための知識を学びます。

心理学フィールドワーク（人間関係）A・B

人間関係コースの学びを踏まえ、仲間とともに支え合う実践的活動を行います。計画から実行までのプロセスを通じ、仲間とはどのような存在か、助けることと支え合うことの違いは何か、人の輪を広げるにはどうすれば良いのかなどを学びます。このように実際に人と関わることに、自ら心理学を活用することで、人との関わりに関する理解をさらに深めます。

ピアサポート

学業や大学生活について学生同士が「ピア（仲間）」として支え合い、助け合うことで、他者を支援する力と自分自身を客観視する力は育成されます。本科目では、このようなピアサポートに関する基礎理論と基本的態度の習得を行います。

キャリア心理領域

企業、組織、社会、経済における人の行動や心理を学ぶとともに、フィールドワークや連携事業などを通じて、
実社会の問題に心理学的観点から取り組む力と組織で活躍するための基礎技能とを育成します。

領域科目の一例

産業・組織心理学

産業・組織心理学は、組織や仕事に関わる人間行動を研究の対象として、さまざまな産業組織の問題解決に心理学を応用しています。この講義では、組織内外の環境と関連付けながら、組織における人々の心理や行動を学びます。

キャリア心理学

自身の経験や技能、特性、そして労働環境などを踏まえて、自分の将来を設計するために必要な理論と知識を学びます。これにより、変化し続ける現代社会の中でも学生が自律的にキャリアを形成できる力を育みます。

心理学フィールドワーク（キャリア）A・B

チームを組み、組織活動の現状や課題を分析し解決策を考案するといった作業を行います。これにより、組織で働く上で不可欠となる、課題を発見・解決する力とチームで協働する力を養います。

マーケティング

顧客のニーズを分析し提供する上で必要な手法と消費者の心理について、企業で活躍する方を外部講師として招きながら、学びます。これにより、企業活動を展開する際に求められる戦略的思考力の基礎を、実例を踏まえて培います。

臨床心理領域

こころの働きとその問題について理解を深めるとともに、多様な支援手法を実践的に学ぶことで、
自他の心理的問題を解決する力および対人援助の基本的素養を育成します。

領域科目の一例

心理演習Ⅰ・Ⅱ

発達検査や人格検査などの心理検査およびロールプレイを用いた心理面接について実践的に学びます。これを通じて、臨床心理学的援助において必要なコミュニケーションスキルを身につけながら、心理検査や心理面接の技術を習得します。

心理実習Ⅰ

心理支援が行われる主な5分野（保健医療分野、教育分野、福祉分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野）の実習施設における見学実習を行い、公認心理師が働く現場に対する理解を深めます。

心理実習Ⅱ・Ⅲ

3年次前期（心理実習Ⅱ）・後期（心理実習Ⅲ）に、保健医療分野、福祉分野、教育分野のいずれかの施設において、現場の実習指導者による指導を受けながら心理支援について体験的に学びます。

心理療法基礎実習Ⅰ・Ⅱ

心理療法の理論や技法を実習を通して学びます。これにより、心理的援助に関する各理論をより深く学ぶとともに、自他の心身を制御する力など、心理専門職と心理学を活かす職業の双方で活用できる臨床心理学的な基礎力を習得します。

大学院との連携によるキャリア形成の促進

本学大学院は、公認心理師・臨床心理士両方の受験資格カリキュラムをもち、
臨床心理士養成第1種指定大学院として、学外実習やボランティア活動を幅広く行っています。
この実績を活用して心理学科では、学部生に対して、大学院進学に備えつつ
実践的知識をより深めていくための機会を数多く提供しています。

連携的取り組みの一例

臨床現場を理解する職場説明会

医療・福祉・教育領域などの現場で活躍する先輩を招き、公認心理師・臨床心理士の実際の働きを学びます。

大学院生とともに行う学外での心理実習

小学校での学習支援や中学・高校での居場所支援を大学院生とともに行います。学生主体の活動もあり、自ら考えて行動することで実践力を身につけます。

大学院生による授業サポート

心理実習などのカンファレンスに大学院生が参加し、経験を後輩に伝えます。大学院生がモデルとなることで学部生は見通しを持ち、安心して実習に参加することができます。

臨床心理学の学会に参加

教員や大学院生とともに学会に参加し、研究発表やワークショップ、他大学の学生との交流などを通じて臨床心理学の最前線を学びます。

大学院入学前サポートプログラム

大学院生が学部生に向けて大学院のガイダンスを行ったり、学部生と合同の勉強会を行ったりします。これにより、大学院生と学部生の絆を深めながら、双方が互いに学び合います。

4年間の学びと成長

心理学科には、3つの領域の専門的学びの他にも多くの講義や演習・実習科目、行事があり、一人一人の成長をしっかりと支えています。

少人数で学び合う『基礎演習』

1年次の必修科目として、少人数のクラスで行われます。大学で不可欠なレポートの書き方などを学ぶだけでなく、チームで協働する力を養います。

『応用演習』で議論する力を鍛える

2年次の必修科目として、少人数のクラスで行われます。自由なテーマについてディベート（討論）を行い、情報を分析する力や情報を発信する力を養います。また、社会で活躍する方の話を聴き、自身の将来像を明確にしていきます。

1年次　2年次

『新入生研修』で輪を広げる

新入生の交流を深めるため、4月上旬に行われます。お互いに協力しながら履修科目を決め、大学生活を始めていきます。メンター（先輩指導員）となる3年生も同行し、新入生を支えます。

心理学を体感する『心理学実験』

心理学の基礎である実験法について、自らが実験を行う者と受ける者の両方を体験して学びます。また、結果を分析してレポートにすることで、卒業研究や社会に出てからも必要な文章力やデータ解析力を培います。

『専門演習／卒業研究』で飛躍的に成長する

3・4年次の必修科目として、少人数のクラスで行われます。興味・関心や将来像をもとに学生自身が指導を受ける教員（所属ゼミナール）を決めます。ゼミナールでは授業に加えて、心理学を活かした地域連携事業や小学校での教育支援活動、さらには学会発表なども行われており、学生の成長を大きく促します。

手厚い就職支援

教職員が学生に、先輩が後輩に、そして学生同士で、就職筆記試験の勉強やエントリーシートの執筆練習、自己分析を行います。これらの活動を通じて、社会人としての自己を徐々に確立させていきます。

3年次

4年次

多様なインターンシップ

企業や地方公共団体、非営利組織などで1週間程度の就業体験をします。これにより、自身の将来像を明確にしながら社会人として必要な素養を身につけます。

集大成としての卒業研究発表会

4年間の学びの集大成として、一人一人が自身の卒業研究を発表します。心理学科の後輩はもちろん、他学科の教員や職員まで、心理学科の4年間でつながった多くの人が学生の成長を見に参加してくれます。

Featured Faculty Members

学生の成長を支える教員たち

11名もの教員による少人数教育で、学生一人一人の可能性を開花させます

1.心理学の授業を行うに当たって大切にしていることは？ / 2.女学院心理学科だからできることは何？

人間関係心理領域

専門 / 社会心理学、集団力学

黒川 光流教授 Mitsuru Kurokawa

1. 心理学について、単に知識としてだけではなく、日常生活や実際の出来事と関連付けて実感しながら理解してもらうことを大切にしています。
2. 仲間や教員と交流しながら心理学について学び実践すること、そして、それらを通してみんなが共に成長することです。

先生が1人1人の個性を
尊重してくださるので、
私たちもお互いを認め合い、
高めあうことができています。

M.Y.さん

キャリア心理領域

専門 / 社会心理学、組織心理学

藤村 まこと准教授 Makoto Fujimura

1. 日常に存在する「あたりまえ」を問い直し、素朴な疑問や違和感を大切にして、それを心理学や科学の知見を用いて検証する力を身に着けてほしいと考えています。
2. 心理学を広く深く充実して学ぶことができるため、その学びを活かして多様な社会課題を心理学のレンズを通して捉え直すことができます。

とても気さくで学生に寄り添ってくれる
先生です。学生が積極的に発言できる
環境を作ってくださるので楽しくゼミに
参加しています。

H.A.さん

臨床心理領域

専門 / 臨床心理学、教育心理学

富永 幹人教授 Mikihito Tominaga

1. 生きた学びとしてもらうために、学生が自分の経験と繋げて考えることができるよう心がけています。
2. 丁寧な指導やきめ細かなサポートを支えに、学生それぞれが自分らしく成長していけることです。

学生一人一人が学びたいことに
丁寧に寄り添ってくれる
優しい先生です。

S.I.さん

国家資格「公認心理師」について

「国民の心の健康の保持促進」に寄与する心理学領域での唯一の国家資格が「公認心理師」です。
心理学科では臨床心理士育成第1種指定大学院の実績を活かし、心の健康を支える専門家として実際に活躍できる力を育成します。

公認心理師さんって、どんな仕事をするの？

以下のように、様々な仕事を行います。

- 心理状態を観察し、その結果の分析＝心理検査等
- 相談や助言、指導など＝カウンセリング等
- 心の健康に関する知識の普及を図るための教育や情報の提供＝心の健康の促進や管理

公認心理師さんって、どこで働くの？

保健医療、福祉、教育その他の分野という様々な領域で活躍します。
具体的例：病院、心理相談所、保健所、福祉関連相談機関、司法関連相談機関、企業内健康管理室・相談室などです。

公認心理師さんには、どうすればなれるの？

以下の教育や経験を積んだ後、国家試験を受けます。

- 専門的な教育のできる大学（学科）を卒業し、大学院（専攻）を修了する
- 専門的な教育のできる大学（学科）を卒業し、数年の実務経験を積む

今までも資格はあったでしょ？

心理学に関わる資格は様々なものがありましたが、その信頼性が広く認められ、福岡女学院大学も多数送り出している臨床心理士でさえ、国家資格ではありませんでした。

国家資格って、そんなに良いの？

国が認めた資格ですので、世間からの信頼が確保できます。法的に認められる状況（仕事内容）や領域（職場）に広がると考えられます。

福岡女学院の心理学科の入試種別を一部ご紹介します

総合型

自己PRが得意な方がチャレンジしやすく、小論文試験に比べ面接を重視しているのが「総合入試」。適正・意欲・目的意識などが本学の方針と一致しているか相互に確認する入試です。資格取得や部活・ボランティアなどの学外活動も評価されます。

入学者（在学生）の声
自分自身がなぜ心理学科に入学したいのかについて、事前に深く考える良いきっかけになりました。自分の思いを整理し、言葉にすることは、入学後の学びの姿勢につながっているように感じます。（宮崎南高等学校）

指定校（学校推薦型）

本学より指定された高校だけが出願できる「指定校（学校推薦型）」。学業成績だけでなく、資格取得や部活・ボランティアなどの学外活動も評価ポイントの一つ。一番重要なのは、志望理由、学科のカリキュラムや特徴などの理解度です！

入学者（在学生）の声
指定校推薦は、学校生活での取り組みなど日頃からの積み重ねが大切です。筆記試験がないため安心して受験に臨めますが、学校から推薦をもらうためには、普段から授業や課題、部活動など真剣に取り組むことが大切です。（京都高等学校）

公募（学校推薦型）

どの高校からも応募でき、面接に比べ小論文試験に重点をおいているのが「公募（学校推薦型）」。小論文対策をしっかりして受験に備えることがポイントです。志望理由や学科の特徴などの理解度、資格取得、部活・ボランティアなどの学外活動も評価されます。

入学者（在学生）の声
この入試では、情報を要約する力が必要だと感じました。私は長文読解が苦手なので、当時は苦労しましたが、大学生になってから、自然と「要点」を考える習慣がついているのは、高校時代に取り組んできた成果だと思います。（大分南高等学校）

一般選抜

個別学力試験（国語・英語）の成績で評価する入試です。これまでに英語民間試験（英検等）を受験した方はその得点を本学入試の際に活用することも可能です。過去問題も本学HPの資料請求から入手可能です。

入学者（在学生）の声
一般選抜は日々の授業や受験勉強で積み重ねてきた学力をそのまま活かすことができるため、努力が結果に繋がりやすいと思います。受験勉強を通じて培った基礎学力は、入学した後にも大きな自信と強みになっています。（福岡中央高等学校）

入試の中には、共通テストを利用する入試もあります。詳しくはHP、入学試験要項にてご確認いただくか、入試広報課にお尋ねください。
また、オープンキャンパスでは、進学相談を行っていますので、ぜひお越しください。

福岡女学院大学 人間関係学部 心理学科の日常を覗いてみませんか？

QRコードもしくは「心理学科 Today」で検索してぜひご覧ください。

心理学科 Today

https://www.fukujo.ac.jp/university/today/archives/category/human_relations/psychology

26.07